カルビー・イートーク株式会社

●主たる事業　パン・菓子製造業

●事業の内容　ポテトチップス等の受託生産

（カルビー株式会社の特例子会社）

●所在地　　滋賀県湖南市柑子袋５２８－１

障害者雇用への取組の成果（認定に当たっての評価ポイント）

■数的側面		
雇用状況	実雇用率	90.91%(R8.6.1現在)
	実雇用率（除外率適用前）	90.91%(R8.6.1現在)
	障害者不足数	0人(R8.6.1現在)
定着状況	過去３年間に採用した障害者の就職６ヶ月後定着率	100%(R8.6.1現在)
	過去３年間に採用した障害者の就職１年後定着率	100%(R8.6.1現在)

■体制づくり	
組織面	①ホームページにて理念を社内外に発信。また、社内報にて、会社の動きや従業員の活躍余暇活動の共有により、お互いの理解を深め、切磋琢磨できるようにしている。 ②経営課題推進委員会を安全・品質・生産・人事などあらゆる経営課題を推進するため組織している。（現在、各事業所毎に２名の障害者が委員として参加している。） ③職業生活相談員、ジョブコーチ、精神保健福祉士をそれぞれの事業所に配置。業務指導のみならず職業生活全般において定期・不定期に面談を実施している。
人材面	専門的な視点で支援が可能となるよう、支援を担当する従業員に資格取得を実施している。在職中にジョブコーチや精神保健福祉士の資格を取得。

■仕事づくり	
事業創出	2017年度に清掃メンテナンス課を発足。親会社の工場敷地内の緑地管理を実施。年間計画に沿って草払い機や芝刈り機の取扱い特別教育を受けた障害者が継続配置され活躍している。2018年度には関東地域の見本品発送業務を内製化するため、東日本事業所を発足。見本品発送業務から徐々にお土産品の受託生産にシフトし、雇用の拡大を図っている。

■環境づくり	
職務環境	事務所が建物の真ん中に位置しガラス貼りとなっており、製造現場内や玄関・休憩室・トイレの出入口を見渡すことができ、常にメンバーの様子を見ることができる。また、車いすのための完全バリアフリー、聴覚・視覚で異常発報を知らせる火災報知器、照明やコンセントの位置、主要な居室の非常呼び出しスイッチの設置等、障害特性に配慮した作業施設となっている。
働き方	作業手順についてはそれぞれの業務毎に写真やコメントを入れ理解しやすいようにしている。また、複雑な工程については勘所となるポイントを、ワンポイントレッスンとして手順から抜き出し、さらに詳細に説明を加えている。
キャリア形成	①現在、知的障害者が１名班長として生産現場内の管理監督業務・作業指示等行っている。また、メンバーのスキルアップや職域拡大を狙いとして作業教育や検査員認定試験などを担当している。 ②製造要員として配属されていた従業員のうち、設備保全に関心の高いメンバーを保全班に抜擢、本人の努力もありQC検定や保全士の資格をとり中心となって活躍している。
社内制度	働きがい・やりがいが持てるよう、全員参加の改善活動を通じ、ヒヤリハットキャンペーンや安全スローガン募集を実施し、優秀な提案・作品には報奨金をだし表彰するなどの活動を行っている。
その他の雇用管理	①「個人の健康管理＝万全の体調で仕事をする」に不可欠な服薬管理の一環として、体調不良や問題行動者が出たときには、可能な限り定期受診の際に同行受診をしている。 ②日々の仕事の担当業務やその出来栄えを振り返ることにより、自分の課題と明日の目標を意識してもらうため、日報の作成をしている。（保護者や支援者と共有することにより小さな変化を見逃さないようにしている）

就労面では、専門的知識を持った従業員を支援者として配置。生活面においても外部の支援機関と連携することにより、きめ細かな雇用管理を行っていることが評価された。

作業風景

ケース詰め作業

検査作業